

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043(222)7207番
2000.8.4 No. 5176

動労千葉を支援する会 7・25関西集会

120名の仲間が参加し
夏~秋に総決起を誓う!



【写真右】国鉄闘争の現局面と展望について提起する中野委員長。(7月25日、大阪港合同会議室)

七月二五日、動労千葉を支援する会関西集会が、全国金属機械港合同の大会議室において、一〇〇名の仲間が参加して開催された。

集会に先立って一八時から、七月一日の国労臨時大会のビデオが上映され、闘争団・家族の決起に参加者全員が感動した。

今こそ動労千葉のように闘おう

集会は、淡路空港反対期成同盟・永井代表のあいさつで開始された。永井氏は「動労千葉は、動労本部革マルの『三里塚と一線を画す』(津山大会)という方針と対決して三里塚労農連帯の旗を守りぬいた。国労臨大のビデオを見て津山大会を思い出した。今こそ動労千葉のように闘うことが求められている。物心両面で動労千葉を支援しよう」と訴えた。

連帯のあいさつでは、全日建関西生コン支部から「三組合呼び掛けの『たたかう労働組合の全国ネットワーク』運動も、昨年十一月には三千人が結集して日本労働運動にインパクトを与えた。闘争団・家族の闘いを踏みにじる『四党合意』を承認し

た国労中央を許さず闘おう」と力強い決意が表明された。

「四党合意」は不当労働行為だ

次に、全国金属機械港合同・大和田事務局長が「『四党合意』は不当労働行為そのものであり、国労潰しに団結破壊の攻撃だ。労働委員会をも武器にして闘いぬこう。『四党合意』の先兵になつて国労中央の屈伏と闘いぬぎ撤回させよう」と国鉄闘争の方向性を提起した。

支援する会事務局から、①全国各地での国鉄集会、②支援する会の組織強化・拡大に向けた二〇〇〇年方針、そして会計報告が行なわれ、続いて、中野委員長から「国鉄闘争の現局面と展望」と題して提起(別掲)が行なわれた。

最後に、国労の仲間、港合同で争議を闘う支部の決意表明が行なわれ、集会のまとめとして、港合同から「夏から秋に向かつて日本労働運動の命運を握っている国鉄闘争に総決起しよう」と力強く提起され、動労千葉を支援する会関西集会は成功裡に終了した。

支援する会関西集会での中野委員長提議(要旨)

七月一日に何が起きたのか。それは、国労闘争団・家族の英雄的決起に演壇占拠だ。この闘いで『四党合意』を粉砕した。それは国鉄闘争・日本労働運動に計り知れない歴史的・階級的意義がある。『四党合意』の本質は、闘争団・国労の交質・解体の攻撃であることをはっきりさせ、絶対に粉砕しよう。勝利の方針は、暴力キャンペーンを粉砕して、八・二六臨大に七・一を上回る大結集をかちとることだ。

われわれは、戦争を拒否する! 治安国家化と対決する集会(7月29日)

七月二九日、東京・豊島区民センターにおいて、破防法・組対法に反対する共同行動と組対法に反対する全国ネットワークの主催により、「治安国家化と対決する!七・二九集会」が開催された。第一部は全国交流会、第二部で集会、第三部は全国交流・懇親会として行なわれた。

今秋連続闘争に 起ち上がるろう!

この日の集会は法務省・警察権力が治安国家体制構築の目安とした二〇〇二年に向けた「闘争宣言」として開催された。

集会では、最初に共同行動の小田原紀雄氏から、治安攻撃に対して全力で対決する、九月三

日の自衛隊治安出動訓練反対闘争の高揚を作り出すこと、今秋からの組対法改悪阻止闘争への連続闘争へ立ち上がる事が基調として提起された。

作家の宮崎学さんの石原差別発言と自衛隊の治安出動訓練に反対する特別アピールを受けた後、シンポジウムに入り、四人の弁護士と関東学院大学・足立昌勝教授が、「治安強化の実態を斬る」という内容で法学者、弁護士立場から司法制度の改悪をはじめとする治安管理の強化の実態について明らかにした。全国の報告では、「日の丸・君が代」反対の闘い、全日建関西生コン支部の仲間などが発言し、動労千葉も共に闘う決意を明らかにしてきた。

自由を、団結を、私達は戦争を拒否する。 治安国家化と対決する 729集会



【写真上】シンポジウムで、治安国家の現状や司法制度が改悪されようとしていることに対して、どのように闘うことが必要なのかなど真剣な討論が行なわれた。壇上でそれぞれ報告を行なう4名の弁護士。(7月29日、豊島区民センター)